

事業名	平成 30 年度国際発信力強化推進事業	
活動 形 態	開催場所	羽咋市、中能登町、志賀町、輪島市、穴水町、珠洲市、能登町、七尾市、宝達志水町
	活動人数	32 名
	期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
活動概要	<p>能登の国際的な評価（世界農業遺産、ユネスコ無形文化遺産）をテーマとした留学生と日本人学生によるスタディ・ツアーの実施を通じ、能登の魅力を国際的に発信するとともに、能登の文化の国際的な理解促進に取り組んだ。</p> <p><能登の世界農業遺産を学ぶスタディ・ツアー> 日 程：平成 30 年 9 月 13 日（木）～15 日（土） 参加者：留学生 6 名（ドイツ、中国、ベトナム、インドネシア）、日本人学生 14 名 概 要：F A O 世界農業遺産の「能登の里山里海」をテーマに、雨の宮古墳群、総持寺と輪島塗、珠洲焼や茶炭、塩田の生産現場、カキ殻を活用したブドウ畑とワイナリー、キリコ祭り、日本海イカ釣り漁の拠点・小木漁港と魚醤工場等を見学し、能登の文化や里山里海の生物多様性について学んだ。 留学生は出身国の伝統的な文化や産業、風習等と比較しながら能登を見て学ぶとともに、動画を作成して能登での体験を発信した。</p> <p><ユネスコ無形文化遺産『能登あえのこと』見る、学ぶスタディ・ツアー> 日 程：平成 30 年 12 月 4 日（火）～5 日（水） 参加者：留学生 5 名（ドイツ、チェコ、中国、タイ）、日本人学生 2 名、国連大学 OUIK のスタッフ 2 名、社会人聴講生 3 名 概 要：ユネスコの無形文化遺産に登録されている農耕儀礼「あえのこと」について、ワークショップ（金沢大学能登学舎）とあえのこと料理の食体験、儀礼の見学（輪島市・能登町）を通じて学んだ。留学生は動画を作成して「あえのこと」を発信した。</p>	